

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和2年9月3日(2020.9.3)

【公開番号】特開2019-23695(P2019-23695A)

【公開日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-006

【出願番号】特願2017-142613(P2017-142613)

【国際特許分類】

G 03 G 15/20 (2006.01)

G 03 G 21/16 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/20 5 3 5

G 03 G 21/16 1 4 7

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月20日(2020.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トナー像を担持した記録材をその間のニップ部で挟持搬送してトナー像を定着する一対の回転体と、

前記一対の回転体を圧接する加圧機構と、

前記加圧機構による前記一対の回転体の圧接を解除する加圧解除機構と、

正逆回転可能な駆動源の第1の方向の駆動力と前記第1の方向と逆方向である第2の方向の駆動力を前記回転体の駆動と前記加圧解除機構の駆動とにワンウェイ構成のギアで切り替える駆動伝達機構であって、前記回転体の側から駆動を受けても前記加圧解除機構が動作しないように駆動を遮断する駆動遮断機構を備えた駆動伝達機構と、有する

ことを特徴とする定着装置。

【請求項2】

前記駆動遮断機構は前記駆動伝達機構の駆動伝達ギア列の一部を構成し、前記駆動伝達ギア列に介入した駆動接続位置と前記駆動伝達ギア列から離脱した駆動遮断位置との間を移動可能であることを特徴とする請求項1に記載の定着装置。

【請求項3】

前記駆動遮断機構を前記駆動接続位置と前記駆動遮断位置とに選択的に移動させる移動機構を有することを特徴とする請求項2に記載の定着装置。

【請求項4】

前記駆動遮断機構の前記駆動遮断位置から前記駆動接続位置に移動させる際のトルクTは、前記駆動遮断機構の前記駆動接続位置から前記駆動遮断位置に移動させる際のトルクWおよび前記ワンウェイ構成のギアで駆動を切り替えるときの空転トルクVの和より大きいことを特徴とする請求項2又は3に記載の定着装置。

【請求項5】

発熱するヒータを有し、前記一対の回転体の一方が可撓性を有する無端状のベルトであり他方が駆動回転体であり、前記ヒータは前記ベルトと接触し、前記ベルトを介して前記駆動回転体を圧して、記録材を挟持搬送するニップ部を形成することを特徴とする請求項1乃至4の何れか一項に記載の定着装置。

【請求項 6】

記録材にトナー像を形成する画像形成部を有し、記録材に画像を形成する画像形成装置であって、請求項 1 乃至 5 の何れか一項に記載の定着装置を備える画像形成装置。

【請求項 7】

画像形成装置の装置本体に設けられ、少なくとも前記一対の回転体を備えた定着部に対するアクセスを可能とする開口部と、

前記開口部を閉じる閉鎖位置と前記開口部を開放する開放位置との間を移動可能な開閉部材と、

前記開閉部材の前記閉鎖位置から前記開放位置への移動に伴って前記駆動遮断機構を駆動接続位置から駆動遮断位置に移動させる、及び、前記開閉部材の前記開放位置から前記閉鎖位置への移動に伴って前記駆動遮断機構を前記駆動遮断位置から前記動接続位置に移動させる連動部材と、を有する

ことを特徴とする請求項6に記載の画像形成装置。